

【国際経営学会主催特別講演会開催報告】

2016年12月8日(木)、国際経営学会主催で「学生よ、大志を抱け」をテーマに、株式会社リーディング・エッジ社代表取締役社長の飛山晴彦氏とメリルリンチ日本証券株式会社副会長の金田浩之氏にご講演頂きました。

飛山氏は、昭和60年に神奈川大学経済学部を卒業後、野村證券(株)、ソフトバンク(株)、東京大学コミュニケーションセンターなどを経て、現在の会社を創業し、代表取締役に就任されました。



講演会の第1部では飛山氏により「自分の人生は、概ね自分の持った夢に比例する結果を生むので、志高く、夢・ビジョンを大きく持つことが大切である」というソフトバンクの孫正義氏に直接教わった話をご紹介頂きました。また、自身の経験から、企業が求める人材について「語学力」「会計力」「行動力」などの能力を挙げ、若い人たちには、グローバル時代を生き抜くスキルを身につけ、辛いことがあっても諦めずにいろいろな事に挑戦してほしいと、締めくくりました。

第2部でご講演頂いた金田氏は、京都大学経済学部を卒業後、野村證券(株)入社、リーマンブラザーズ証券(株)東京支店、クレディスイス証券(株)、ゴールドマンサックス証券(株)を経て平成23年にバンクオブアメリカメリルリンチ日本証券(株)に入社されています。これまでの人生を振り返る



と挫折と試練の連続であり、グローバル社会で生きていくためには、「フェア」「判断力」「美点凝視」などの視点が必要であると指摘されていました。また、人生そのものがベンチャーであり、本気で取り組む事や感謝の心、ありのままに素直に生きることの大切さについてお話し頂きました。

講演終了後のアンケートでは、下記のようなコメントが受講生から寄せられました。

- 様々な経験をしたうえで大事なことを語っていただき言葉に重みがあり有意義な講演会だった。
- IT、グローバル、高齢化というキーワードが今後重要だと聞いて、それを参考に学生のうちにできる資格やスキルを身に着けたいと思った。
- 逃げない、負けない心と前向きな視点が成功につながったことに感銘を受けた。自分に最も足りない部分であり、就活前の今、有意義な講演を聞くことができて良かった。
- お二人共通でお話していただいた「正直・素直」、「挑戦・行動力」を企業は求めており、それに語学力を身に付けられるように大学生生活を過ごしていきたい。

今回の講演は行本先生の「ベンチャー論」の中で開催された関係で90分という限られた時間となりましたが、学生が今後の人生を歩んでいく上で大変役立つ内容だったことが分かりました。国際経営学会では、今後も学生一人一人の成長を支援するような講演会やイベントを企画・運営していく予定です。